



▲真剣に傍聴する高校生

高校生が議会傍聴

平成24年12月11日に開会された「第4回奥尻町議会定例会」で、北海道奥尻高等学校（石戸谷亮校長）の3年生のみなさんが傍聴に訪れました。

この高校生の傍聴は、毎年12月の定例会で行われていて、今年は生徒21名と引率教諭2名の計23名が来られています。

いつもはまばらな傍聴席がこの日ばかりは満員状態となり、議会も緊張感が漂う中、いつも以上に気合いの入っている議員も見受けられました。

なお、定例会終了後、生徒から感想文が寄せられましたのでご紹介しますが、紙面の関係上、2名分しか掲載できませんのでご了承願います。

私は今回の議会見学で、奥尻町の良い面、悪い面を考えてみたり、意見を言い合うことで奥尻町をより良い町にしようとしている姿を見て、自分も町づくりに貢献したいと思いました。

将来、自分もみんなさんのような自分の意見をしっかりと持ち、伝えられる人になりたいと思いました。

議会見学

3年 Hさん

今回初めて議会を見て、意見をたくさん言つたり、

その意見にすぐ答えたりして、本当に驚きました。

町のことを考え、一つ一

つ時間をかけて議会を行っ

ているんだなと思いました。例えば、球浦地区の越波の問題で、以前から言っているけどなかなか進まず、早く作業を行ってほしいと

つて意見を出し合って、こ

とでも感心させられま

った意見を出し合って、この奥尻を良くしようと頑張っているのが見てて伝わり、とてもすうじいことだと思いました。

特に自分がこんなことまで気にするのかと思ったの

たが、自分達が知らない所でこういうふうに話し合つ

った時のための暖房器具についての意見などがあり、

は除雪のことや、高齢者の家の前に雪を置かないよう

にするなどの提案をして、島民一人一人のためにより暮らしやすくなるため、とても真剣に話し合いをして

激しい討論が繰り広げられていて、議会を身近に感じ

る事ができました。

島のことをとても誇りだ

ることで奥尻島に越してきました。

自分は奥尻島に越してきて、とても住みやすい所だ

なと思って暮らしてきました。

私は今回の議会見学で、奥尻町の良い面、悪い面を考えてみたり、意見を言い合うことで奥尻町をより良い町にしようとしている姿を見て、自分も町づくりに貢献したいと思いました。

将来、自分もみんなさんのような自分の意見をしっかりと持ち、伝えられる人になりたいと思いました。

こんな貴重な体験をありがとうございました。

宮津小6年生も議会見学

宮津小学校（米田 昌校長）の6年生児童3名が、担任教諭の引率で11月21日に奥尻町議会を見学しました。社会科学習の一環として施設内を見学した児童たちは、議会の仕事などの説明を熱心に聞いたり、メモをとるなどしながら、その学習成果を学校へ帰ってから新聞にまとめたそうです。なお、議場を見学した際、児童達は順番に議長席に座らせてもらい、貴重な体験にとても喜んでいました。



▲説明を熱心にメモする児童達